

## 曾孫の養育を引き受ける 決断と、その不安

公益社団法人家庭問題情報センター・笠松 奈津子

山田さんの孫娘は自分の子どもでもある曾孫に体罰を加え、曾孫は施設に保護されました。孫娘が曾孫を育てられないと言うので、山田さんが引き取ったものの、年金暮らして生活に余裕がなく、将来が不安になって相談にみえました。親権や法的な養子縁組の有無等、確認したいと思いましたが、質問や相談の裏側にある不安や不満の方が大きな問題のようです。

**山(山田)** 内輪のことであまり人様にお話しするようなことではないのですが、曾孫の生活費を請求したいと思うのですが。

**カ(カウンセラー)** 山田さんとご主人とで、曾孫さんを育てているのですね。引き取ったという、どういうお話をされたのでしょうか。

**山** 私たちが親代わりということで、養子にしたのです。

**カ** 曾孫さんのご両親と話し合って養子縁組の手续をしたということでしょうか。

**山** 手続も何も、育てられないというので、しかたないでしょう。

**カ** お子さんのお父さんやお母さんは、今、どうしているのですか。

**山** 孫娘は、友だちのころを転々としていて、仕事もしているのかいないのか、はっきりとはわかりません。子どもの父親、つまり孫娘の夫は、自分の実家にて建築関係のアルバイトはしているようですけどね。

**カ** お孫さんは正式に結婚してお子さんがかきたのですね。今もご夫婦なのでしょうか。

**山** 結婚はしましたが離婚したか知りません。子どもがずっと施設ではかわいそうだなと思ったのですが、よりによってこんな年寄にお鉢が回ってくるとは。

ほんとに引き受けるべきだったでしょうか。曾孫の父親の方の実家だつてあるのですから。

**カ** 大変なご事情があったのでしょうかね。

**山** 孫娘の体罰で、まずは一時的に保護されたようで、児童相談所とか役所の方から連絡がありました。孫娘夫婦が育てていけるのか、夫の方の家族ではどうなのか、曾孫を育てていけるところがないか、話し合われたようです。誰も育てられなければ、この先、生活していく施設を探すと言われ、「育てられるのは私たちしかない」というようなことになりましたね。

家族がいるのに施設で生活するのは不憫ですよね。それで私たちの養子にしたのです。

**カ** 手続をされるのもご苦労されたでしょう。山 そうなのです。裁判所にも行きましたしね。話は聞いていましたが、養子縁組すると経済的なことも含めて、全責任をもつというの、こういうことなのだとなつて実感しているところです。

**カ** ご主人ともよく話し合われたのでしょうか。山 よく決断されましたね。

**山** それはもう悩みに悩みました。夫とこんなに話したのは初めてかもしれません。本来なら、子どもは両親がしっかり愛情をかけて育てるもの。それができないなら、周りがやるしかありませんからね。

**カ** その役目を引き受けようと思われたのですね。

**山** そういうことになりましたね。孫娘が育てられなければ、まずその母親である私たち

の娘が、自分の孫を育ててくれたらいいのですけどね。

**山 力** なにかご事情があるのですね。

娘は十代で結婚して、孫娘を出産したのですが、孫が二歳になる頃、離婚して戻ってきました。娘の元夫は子どもに合わせると言ってきましたけど、娘は暴力を受けていたので絶対会いたくないと、孫を父親に会わせませんでした。当時は離婚したら、二度と会わないのが普通でしたしね。私たちも追い返しました。

娘は、孫を育てるために飲食店で働くようになり、今度は店のお客さんと再婚して孫を連れて家を出ました。はじめは孫をかわいがっていた再婚相手ですが、自分の子どもができるとその子ばかりをかわいがり、生意気盛りになっていったうちの孫には厳しく当たって手を挙げたりしたようです。

**山 力** お孫さんにとってはつらいことでしたね。

そのときすぐに孫娘を引き取って私たちが育ててやればよかったですけど、夫婦でなんとかやっていってほしかったのです。でも結局、娘はその人とも離婚しました。子どもを二人連れては戻りにくかったです。子どもを二人連れては戻りませんでした。

もつと子育てを応援してやればよかったのですが、その後も再婚、離婚を繰り返す娘とは、次第に疎遠になってしまいました。孫娘が中学を卒業したときに母親と折り合いが悪くなり、私たちと生活するようになりました。看護師になりたいというので、楽しみにしていました。友だちと夜遅く

まで出歩くようになって、男友達とその実家で同棲を始め、娘同様、十七歳で妊娠して結婚したのです。相手の実家で世話になっていると思っていたのですが、そこを出て、三人で部屋を借りていたようです。そういう状況で今度のことになったのです。孫は父親にも母親にも、大事にされていないように感じているでしょうね。そんな因縁のある孫の子どもを、私たちが育てることになりました。

**山 力** 曾孫さんの生活費を請求できないかというのが今日のご相談でしたね。

今度、孫の夫の実家と話をします。曾孫の生活費を少しでも負担してくれると助かるのですが、あちらも事情があるのですよね。孫娘の夫の下に、中学生や高校生の弟、妹がいるようですから。

**山 力** 今日は、話を聞いてもらえただけで、少し気持ちが落ち着きました。

とても曾孫さんがいるようには見えませんね。

**山 力** 娘も孫も早婚のせいで、六十半ばで曾爺さん曾婆さんです。曾孫のために老け込んでいられないって、夫と話しています。

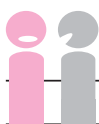
曾孫にエネルギーをもらっていますよ。元気な子で、あまり風邪も引かず、楽しく学校に通っています。おばあちゃんのおかずは茶色っぽいと言っていました。給食も和食が多く味噌や野菜が多く使われていて、うちと同じだなんて言いますから、馴染んできたようです。担任の先生も、気遣ってくれています。役所の人もときどき連絡をくれます。

す。みんな私らより若い人ばかりで、身内のことを話すのははばかれるように思いましたが、話してみると、なんだか少し肩の荷が下りたような気がします。

**山 力** 幸い夫も少しですが仕事があります。家もあって多少の蓄えがありますから、娘や孫ができなかった分、私たちが親代わりになってしっかり育てていくしかないですね。私たちが、娘や孫にしてやれなかった分でもありますしね。

昔は親戚や隣近所で、相談にのったり愚痴をこぼし合ったりというのがありましたが、今はそうもいきませんよね。その代りに、行政や地域の相談窓口がありますから、これからも、あまり抱え込まずに利用されたらいかがでしょうか。

孫の養育に協力する「育じい」、「育ばあ」が話題になる昨今ですが、名実ともに「親」として曾孫を養育する山田さんは、自身の決断を振り返る機会も必要だったのです。



家庭問題カウンセリングルーム